

2024年
10月17日
NO.56

全国OB会ニュース

日本貨物鉄道労働組合
全国OB会
発行人 伊藤 憲治

2024年JR総連OB連絡会拡大幹事会開催！

JR総連OB連絡会は、10月9日（水）13時に「2024年JR総連OB連絡会拡大幹事会」を目黒さつきビル2Fで開催しました。座長には、武川幹事（JR北海道労組OB会）を選出し、議事が進められました。

主催者挨拶としてJR総連OB連絡会奥山会長からは、「JR東海労は、JR総連臨時大会で除名が決定された。これを受けてJR東海労OB会よりこの状況なので、拡大幹事会には欠席させてほしいと連絡があり、承諾した。」「JR東海労は、JR総連の指導に従わない。JR総連近畿地協津崎議長を名誉棄損で提訴するなど、JR総連を組織破壊する行為は許されるものではない。OB連絡会としてもJR総連とともに進んでいく。」「今朝の新聞で、袴田事件に対して検察が控訴することを断念したと書いてあった。浦和電車区事件もそうであったが、権力犯罪は許さない。警察の証拠の捏造などあってはならない。これまでの報道に対して犯人として扱ったことに東京新聞だけが自己批判文を掲載した。なぜここまで時間がかかったのか検証すべきである。」「衆議院が今日解散し、10月27日投開票の選挙戦に入る。立憲民主党を私達が作り変えていくことが課題。憲法を守り、戦争をしない、非核三原則を守ること。今の政治を変えるのは私たちであり、そのためには是非1票を投じることだ。」「JR総連が10月24日に平和集会を開催する。OB連絡会も参加する。」と挨拶しました。

引き続き、JR総連山口委員長から問題提起を含む挨拶を受けました。山口委員長からは、①JR東海労が何故このようになってしまったのか。②東海労裁判の現状について。③車軸への圧入力の問題。④ローカル線問題。⑤物流のネットワーク。⑥政治と平和について述べられました。

続いて、執行部側より、①1年間の取り組み経過報告、②JR総連OB連絡会幹事会の報告があり、その後、各単組のOB会の闘いの報告を受けました。

JR貨物労組全国OB会からは、松村事務局長が、①全国OB会第27回定期総会の報告、②「全国OB会の歩み」の冊子について、③東海労裁判及び東海労除名による問題について報告しました。最後に、奥山会長の団結ガンバローで総会をしめました。

2024年度新役員は以下の通りです。

役職名	氏名	所属労組	役職
会長	奥山 光昭	J R 東労組 O B 会	会長
副会長	伊藤 憲治	J R 貨物労組 O B 会	会長
事務長	森 将 美	J R 東労組 O B 会	事務局長
幹事	武川 隆二	J R 北海道労組 O B 会	会長
幹事	土井 憲治	J R 西 労 O B 会	会長
O B 担当	佐藤 英樹	J R 総連 O B 担当	副委員長
O B 担当	池尻 和寛	J R 総連 O B 担当	広報部長

尚、今回の拡大幹事会をもって長年副会長の任にあたっていただいた藤原博之さん（J R 貨物労組全国 O B 会前会長）が退任されました。長い間ご苦勞様でした。



以上